

## 第35回佐世保港地方港湾審議会 議事概要

日 時：令和3年8月6日（金） 14：30～15：30

場 所：佐世保市役所5階庁議室

出席者：審議会委員31名中27名

山本委員、橘高委員、家入委員、木原委員、大坪委員、小野委員、松本委員、杉澤委員、宮本委員、山下委員、堤委員、佐藤文委員、久保委員、柴山委員、長野委員、藤巻委員（代理：大庭所長）、三嶋委員、帆足委員、佐藤哲委員、納塚委員、奥村委員、下田委員、奥田委員（代理：平岡課長）、田中委員、北村委員、井元委員、木村委員

### 【議事要旨】

○開会

○委員紹介

○市長挨拶

○会長・副会長の選任（座長：橘高委員）

会長：山本委員、副会長：家入委員

○諮問書の伝達

○審議会成立の報告

○議事

議題：佐世保港港湾計画（軽易な変更）について

○内容説明（事務局）

○質疑

（山本会長） 浦頭地区は通船か何かを将来的に考えているのか。

（事務局） 市街地との海上交通の充実を図るための通船を考えている。

（山本会長） 三浦地区の用地の変更では、具体的な使用目的等を考えているか。

（事務局） 鯨瀬ターミナルビル周辺の機能再編の中で、交流厚生用地からふ頭用地に変更する箇所については、宿泊機能とターミナル機能を合わせた形での配置計画等を検討している。

（久保委員） （俵ヶ浦地区の）静穏度の検討において、通常時と異常時との検証があるが、この異常時の定義というのはどういったものか。また、防波堤を計画した場合をどのようにして計測したのか。

（事務局） 異常時の設定方法については、30年確率の波浪（30年に1度の波浪、風が吹いた場合に想定される波）を計算し、防波堤をどの程度延伸すれば静穏度が確保できるかという計算を行っている。なお、30年確率とは、過去30年間の風のデータを基に計算をしたものである。

（久保委員） 定義については理解できた。異常時の計測の仕方についても一度教えてほしい。

（事務局） 過去30年間の風データをもとに、数値を出している。

（久保委員） 過去30年間の風データをもとに、防波堤を延伸した場合にそれぞれこうなるという数値になっているが、防波堤はまだ延伸していない。仮定で数字を出されているが、具体的にはどういう計算方法があるのか。

- (事務局) 30年間風の集計を行い、ある地点での風データがあり、この箇所での風の計算を行う。現状の施設での波高が高いという場合、そこに仮に防波堤を設置するという形で計算を行い、所定の場所での波高を確認する。仮に一回防波堤を設置したという計算を行う。
- (久保委員) そういう計算があるということで、わかった。
- (山本会長) 経済学でもあるが、with、withoutという。もしそれが例えば、人口の動態にしても、こういう政策をとればどうなる、取らなかつたらどうなるのかというところで、恐らくどの分野でもある。
- ( 〃 ) この30年というのは佐世保市独自か、国の方で静穏度は30年でとまっているのか、補足いただければ。
- (事務局) 国の「港湾の技術基準」というものがあり、この確率を使用する定義である。
- (山本会長) 大庭所長からなにか(あるか)。
- (大庭所長) 技術基準として、港湾法に基づいて設定している技術的な基準に基づいて、所定の計算を行っているのであれば、我々は特段ない。
- (長野委員) 俵ヶ浦地区の埋立でかなり広範囲になるが、工事期間の目測があるか。
- (事務局) 予定として令和6年から令和9年度までで埋立できるような形でやりたい。
- ( 〃 ) 補足だが、護岸工事については、今回の港湾計画の変更、そして埋立申請の願書、許可など、諸々の手続きを済ませ、今年度中に一部着手したい。そのうえで、護岸の締切部分を令和9年度まで、また、周りの浮棧橋などの係留施設を令和11年度までに完成をさせたいと考えている。
- (長野委員) 公共残土の埋立ということだが、見通しはあるか。
- (事務局) 昨年、当審議会でも計画に位置付けた崎辺地区やその他の公共残土を見込みとして考えている。
- (長野委員) こういう計画を立てられると、地元の皆さんは、ある程度期待をして待っているので、この計画どおりに事業を進めることが必要だと思う。
- (小野委員) 佐世保港がどうなっているかという部分で、審議会で諮問され、答申し、国交省にいき、公共工事という流れで行くのだろうが、施工業者が決まったとたん、ある一委員、この中の委員から意見が出てくると、悪戯に工期を伸ばすということが、多々起こっている。そこは、粛々と強気に、地元、市民の方のためにやってもらいたい。
- ( 〃 ) 熊本県の港湾審議員もやっているが、こういう足の引っ張り合いは一切ない。計画が決まれば、それを前にドンドン進めていく。それぞれの関係各所の理解を経たうえで、審議会の中での議論を経て進めているので、ぜひとも佐世保市においても、粛々と進めて頂きたい。要望である。

○表決：賛成者多数

○閉会